

全国大会の歩み

- ◆第1回 «東京足立大会» 平成12年6月4日 足立西新井文化ホール
連盟発足後の初の全国大会で参加楽団は足立・宇都宮・かつしか・他7楽団。参加楽団が確定したのが大会1か月前という慌ただしい中での大会だったが、他楽団の多彩な編成の演奏が聴けて有意義だった。
- ◆第2回 «東京杉並大会» 平成13年5月27日（日）杉並区公会堂
参加楽団は新たに横浜・リードフレンドマリーネを加え9楽団。高木東六名誉理事長がピアノを弾く場面があった。
- ◆第3回 «山形天童大会» 平成14年10月13日（日）天童市市民文化会館
参加楽団は8楽団。天童市あげての大歓迎で、また、花笠音頭を地元の舞踊団と共演するなど素晴らしい大会だった。翌日は最上川の川下りを楽しんだ。
- ◆第4回 «横浜大会» 平成15年9月28日（日）神奈川県立音楽堂
参加楽団には我孫子、ドウヤマハ、北の杜が加わり12楽団。参加楽団が増えて当日の運営が大変だったが、素晴らしいホールで演奏出来て有意義な一日だった。
- ◆第5回 «宇都宮大会» 平成16年9月26日（日）栃木県総合文化センター
参加楽団は札幌のコロポックル、スルーザヨコスカが加わり13楽団。1,600席の大ホールを埋め尽くしたホスト楽団の集客力に驚嘆。遠路、札幌からも新しい楽団が参加し、全国大会の名に恥じない素晴らしい大会だった。
- ◆第6回 «東京調布大会» 平成17年9月11日（日）調布市グリーンホール
参加楽団には井の頭、武蔵野が加わり16楽団。参加楽団の増加に伴い合同演奏への参加希望が増え、選抜せざる得なかった。
- ◆第7回 «札幌大会» 平成18年10月8日（日）札幌市民会館大ホール
参加楽団は来人（札幌）、留萌、ヴィオリラ・クィーンズ、ステラ室内合奏団、札幌ジャズOrchが加わり17楽団。北は留萌、西は広島からの出演で文字通りの全国大会だったが、台風の影響で夜行列車が7時間遅れるなどのハプニングがあった。大会翌日は台風一過の秋晴れで新雪に輝く日高連峰を仰ぎ、生きている幸せを感じた。
- ◆第8回 «広島大会» 平成19年6月3日（日）広島アステールプラザ大ホール
参加楽団は12楽団。大会当日は早朝、広島の皆様全員が会場入り口で迎えて下さるなど、心のこもった大会だった。東京からの多くは原爆ドーム、宮島、しまなみ海道、四国横断旅行を満喫。
- ◆第9回 «横須賀大会» 平成20年10月5日（日）横須賀芸術劇場
参加楽団には、デュークグリーンサウンド（新宿）E.シーガルヨコハマが加わり15楽団。1,800席の大劇場を埋めた観客の前で演奏できる喜びを感じた大会だった。
- ◆第10回 «東京葛飾大会» 平成21年9月23日（日）かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール
参加楽団には弦の集いが加わり16楽団。出演予定の3楽団が連盟を脱退するという事態での大会だった。
- ◆第11回 «千葉大会» 平成23年10月10日（日）千葉県文化会館
参加楽団は市原、千代田神田E、船橋、四街道、市川が加わり16楽団。東日本大震災の記憶も生々しい中での大会だったが、1,000人を超す大観客の中での演奏会だった。
- ◆第12回 «宇都宮大会» 平成25年9月29日（日）栃木県総合文化センター
第5回大会に続き2回目。参加楽団は12楽団。前回同様、素晴らしい集客力で1,600席の会場に溢れんばかりの大観客の前で熱演が繰り広げられた。